

1 題材名 日本の民謡に親しもう～日本の民謡をたずねて～

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

子どもは、「ソーラン節」の学習で、民謡の背景や歌詞の意味を手がかりに、民謡の雰囲気にあった楽器やリズムの特徴を捉えてきた。そこでは、聴き取ったことと感じ取ったこととを関連付けながら思いや意図をもって表現する姿が見られた。このような子どもが、日本各地に伝わる民謡を知り、民謡ならではの音楽的な特徴について発見したり、曲が作られた背景についてさらに深く調べたりする活動に取り組めば、民謡の特徴と人々との暮らしとの関わりについて興味・関心をもち、日本の民謡に親しむことができるだろう。

そこで題材を構想するにあたっては、次のような設定をする。

＜題材について＞

本題材は、表現や鑑賞の活動を通して、日本の様々な民謡に親しむことができる教材といえる。子どもは、調べた民謡をグループで聴き合う活動を通して、民謡ならではの音楽的な特徴を発見したり、曲が作られた背景と人々の生活との関わりがあることに気付いたりするだろう。ここでは、いろいろな民謡を聴き比べ、民謡のよさや面白さを感じ取ったり、曲が作られた背景があることに気付いたりする姿を大切にしたい。

そこで、指導にあたっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 第一次では、「こきりこ節」が歌われる場面や地域を紹介し、曲の背景を意識して仲間と聴き合いながら歌わせることで、曲が作られた背景と音楽的な特徴との関連に気付くことができるようにする。
- 第二次では、調べた民謡のよさや面白さの根拠を問い合う場を設定することで、曲が作られた背景と音楽的な特徴とを関連付けることができるようにする。
- 題材の終わりに、見いだした民謡のよさや面白さを探らせる。そうすることで、民謡ならではの音楽的な特徴に気付いたり、曲が作られた背景を大切にしたりすることができるようにする。

3 目標

- (1) 民謡の曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。
〔知識及び技能〕
- (2) 民謡の旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。
〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の民謡やその表現に親しむ。
〔学びに向かう力、人間性等〕

4 well-beingにつながる学びについて

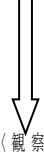
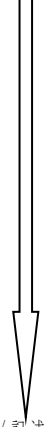
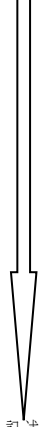
本学園では、well-beingを「個人だけでなく、社会や地球環境まで含めた全体的に良好な状態」と捉えている。well-beingの実現には、教科等の本質に迫る授業で身に付けた資質・能力を、人生において自在に発揮できる子どもを育成することが必要不可欠である。そのためには、エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）の育成及び発揮が重要な課題であると考えている。

本学園の音楽部では、音楽的な見方・考え方を働かせながら、仲間と協働して音や音楽に積極的に関わっていく子どもを育成する授業が、教科の本質に迫る授業と捉えている。また、エージェンシーを発揮している姿を、音楽の見方・考え方を働かせながら民謡のよさや面白さを探ったり、音楽的な特徴を比べながら聴いたりしている姿だと捉えている。本題材においては、日本各地に伝わる民謡を一つ選び、その民謡のよさや面白さについて発表する場を設定する。これまで学習した民謡と比べながら曲のよさや面白さを探ったり、発見したりする姿がエージェンシーを発揮した姿だと考えている。

このような学習を経験した子どもは、これまで学習した民謡や、生活の中で聞こえてくる郷土の音楽に自然と耳を傾けるようになり、仲間とともに音楽のよさや面白さを感じることができるようになるだろう。また、自分たちなりに音楽表現を深めていくことで、心から音楽が楽しいと思えるようになり、それらはwell-beingの実現につながるだろう。

5 指導と評価の計画（総時数 4 時間）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	思 民謡の旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見い出して聴いたりしている。	態 我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

次	学習活動・内容	エージェンシーを発揮するための手立て	知・技	思	態
			〈 〉内は評価方法		
一 ①	○ 「こきりこ節」が作られた背景を知り、歌唱する ・ 作られた背景 ・ 音楽的な特徴 ・ 身近な地域の民謡の存在	○ 「こきりこ節」が歌われる場面や地域を紹介し、曲の背景を意識して仲間と聴き合いながら歌わせることで、民謡の雰囲気を感じ取ることができるようにする	 〈観察〉		
二 ③ 本 時 3 / 3	○ 日本各地に伝わる民謡の中から一つ選んで調べる ・ 曲が作られた背景 ・ 音楽的な特徴 ○ 調べた民謡のよさや面白さについてグループで話し合う ・ 調べた民謡のよさや面白さの根拠 ● 調べた民謡を発表する ・ 他のグループの民謡のよさや面白さ ・ 曲が作られた背景と音楽的な特徴との関連	○ 「こきりこ節」のよさと面白さを比べながら聴かせることで、調べた民謡にも作られた背景や音楽的な特徴があることに気付くことができるようにする ○ 調べた民謡のよさや面白さの根拠を問い合う場を設定することで、曲が作られた背景と音楽的な特徴とを関連付けることができるようにする ○ 見いだした民謡のよさや面白さを探らせることで、民謡ならではの音楽的な特徴に気付いたり、曲が作られた背景を大切にしたりすることができるようにする	 〈記述〉 〈聴取〉	 〈記述〉 〈聴取〉	 〈記述〉 〈発表〉

6 本時案 ー第二次・3時分ー

- (1) 主眼 グループで調べた民謡の音楽の特徴を聴き取ったり感じ取ったりする活動を通して、民謡のよさや面白さを探り、発見することができる。
- (2) 準備 タブレット、ワークシート
- (3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 民謡の特徴を予想する 民謡にはどんな特徴があるのかな ・歌い方 ・楽器の音色 ・リズム ・曲が作られた背景	ア 民謡は声の出し方が独特だね イ 民謡には和楽器が使われていたよ ウ グループで民謡を聴き合ったとき、リズムに違いがあったよ エ 作られた背景と曲の感じがどのようにつながっているのか、他の民謡も聴いてみたい	・ 前時に調べた民謡の特徴を振り返らせる。そうすることで、音楽を形づくっている要素に着目しながら鑑賞することができるようにする。	5
2 グループで調べた民謡について紹介する それぞれの民謡を聴いて感じたことは何かな ・民謡の音楽的な特徴 ・曲が作られた背景	ア この民謡は豊漁を祈る曲で、弾んだリズムが出てくるところが特徴だよ イ リズムが弾んでいるから歌っている人の気持ちが明るいのと思ったよ ウ 使われている楽器は和楽器だね。2つ組み合わせられているから音の重なりが面白かったよ エ この民謡はお祭りで歌われている曲だよ。伴奏は同じリズムで刻まれているよ オ 合いの手がある曲だね。お祭りで歌われる曲だからかな カ リズムにのりやすい曲だね。太鼓の音がリズムの中心になっているからかな	・ 他のグループの民謡を聴いたあとに、感じたことを発表させる。そうすることで、その民謡のよさを広げることができるようにする ・ 何がきっかけで生まれた民謡なのか伝えさせる。そうすることで、民謡の種類について気付いたり、曲が作られた背景を大切にしたりすることができるようにする ・ 紹介した後に音源を聴かせる。そうすることで、曲の特徴が相手に伝わるようにする	35
3 本時の学習を振り返る 民謡のよさや面白さは何かな ・曲が作られた背景と音楽的な特徴の関連	ア 声の出し方が面白かったよ。民謡独特の歌い方が気に入ったな イ 曲が作られた背景によって、音楽的な特徴が違うから面白いね ウ 民謡は人々の願いや思いから作られているところがよいと思ったよ	・ 見いだした民謡のよさや面白さを探らせることで、民謡ならではの音楽的な特徴に気付いたり、曲が作られた背景を大切にしたりすることができるようにする	45

(4) 評価規準と方法

グループで調べた民謡の音楽的な特徴を聴き取ったり感じ取ったりする活動を通して、民謡のよさや面白さを探り、発見することができたか、発表やワークシートの記述からみとる。

<メモ>